

目指す子供の姿

- 対象や事象を捉える造形的な視点について自分の感覚や行為を通して理解するとともに、材料や用具を使い、表し方などを工夫して、創造的につくったり表したりすることができる。
- 造形的なよさや美しさ、表したいこと、表し方などについて考え、創造的に発想や構想をしたり、作品などに対する自分の見方や感じ方を深めたりすることができる。
- つくりだす喜びを味わい、主体的に表現及び鑑賞の学習活動に取り組もうとすることができる。

目指す子供を育成するための教師が取り組む具体的な実践内容

- ①造形的な視点について自分の感覚や行為を通して理解したり、表し方などを工夫して、創造的につくったり表したりする学習活動の充実
 - ◇自分の感覚や行為を通して、形や色などの造形的な視点を理解する学習活動を設定する。
 - ◇材料や用具について基本的な扱い方を理解した上で、扱うこと自体を楽しめる活動を設定する。
- ②創造的に発想や構想をする学習活動の充実
 - ◇形や色などの造形的な視点を基に、児童の思いを大切にした学習活動を重視する。
 - ◇造形遊びの活動を年間指導計画上で適切に位置付け、活動の充実を図る。
 - ◇「A表現」及び「B鑑賞」の相互の関連を図る学習場面を設定する。
 - ◇「つくり、つくりかえ、つくる」活動を重視する。
- ③作品などに対する自分の見方や感じ方を深める学習活動の充実
 - ◇友達の表現や作品、親しみのある美術作品、生活の中の造形等を鑑賞する場面を設定し、自分の考えや表現の仕方との共通点、相違点を見付ける学習活動を行う。
 - ◇見方や感じ方について交流する学習を設定し、交流の中で心に残った友達の言葉や表現の仕方の工夫を書き留めるなどして、互いのよさや個性を尊重し合う活動の充実を図る。
- ④ICTの効果的な活用による表現及び鑑賞の活動の充実
 - ◇表現活動では、表現したことを画像や動画で記録したり、容易に試行錯誤することができるソフトウェアを活用した表現を行ったりする。
 - ◇鑑賞活動では、撮影した画像や動画を一人一台端末で共有しながら交流したり、美術館のウェブサイトを閲覧して美術作品を鑑賞したりする。